

平成23年度に実施した盛岡市立小中学校第2次耐震診断等の結果について

1 非木造学校施設の第2次耐震診断の結果

教育委員会では、市立小中学校耐震化対策として、新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した校舎・体育館について第1次耐震診断を実施し、その結果に基づき、Is値0.7未満の建物（棟）を有する学校を対象に、Is値の低い学校から順次第2次耐震診断を実施している。

平成23年度に実施した第2次耐震診断の結果は、次表のとおりである。

(1) 第2次耐震診断の結果（平成24年4月1日現在）

Is 値		小学校	中学校
「0.3」未満	実施年度	全1校・1棟	全0校・0棟
	H23	見前小1	—
「0.3」以上 「0.7」未満	実施年度	全3校・3棟	全3校・4棟
	H23	中野小1, 見前小1, 生出小1	北陵中2, 大宮中1, 松園中1
「0.7」以上	実施年度	全2校・2棟	全3校・4棟
	H23	仙北小1, 見前小1	北陵中1, 玉山中1, 松園中2

(注) 1 数字は校舎棟数, ( )内は体育館棟数

2 Is値（構造耐震指標）

$I_s < 0.3$  大規模な地震に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

$0.3 \leq I_s < 0.6$  大規模な地震に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

$0.6 \leq I_s$  大規模な地震に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

なお、文部科学省では、Is値の0.6を0.7としている。

(2) 今後の対応

第2次耐震診断の結果により、Is値が「0.7」未満となった建物は、耐震化工事が必要となる。特に、Is値が「0.3」未満の建物は、大規模地震により倒壊（崩壊）する危険性が高いことから、今年度に耐震化事業に着手する。

Is値が「0.3」以上「0.7」未満となった建物は、大規模地震により倒壊（崩壊）する危険性があることから、盛岡市立小中学校耐震補強計画に位置付けながら、平成27年度までに耐震化を完了することを目指すものとする。

## 2 木造学校施設の耐震診断の結果

木造学校施設の耐震診断については、平成20年6月に改正された「地震防災特別対策措置法」において耐震診断の実施及び診断の結果の公表が義務付けられたことから、昨年度3校3棟、今年度1校1棟を実施し、終了する予定である。

平成23年度に実施した耐震診断の結果は、次表のとおりである。

### (1) 木造耐震診断の結果（平成24年4月1日現在）

Iw値			小学校	中学校
	「0.7」未満	実施 年度		全2校・2棟
H23			浅岸小1 太田東小1	下小路中(1)
「0.7」以上 「1.1」未満	実施 年度		全0校・0棟	全0校・0棟
	H23		—	—
「1.1」以上	実施 年度		全0校・0棟	全0校・0棟
	H23		—	—

(注) 1 数字は校舎棟数, ( )内は体育館棟数

2 Iw値（構造耐震指標）

$Iw < 0.7$  大規模な地震に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

$0.7 \leq Iw < 1.0$  大規模な地震に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

$1.0 \leq Iw$  大規模な地震に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

なお、文部科学省では、Iw値の1.0を1.1としている。

### (2) 今後の対応

木造耐震診断の結果により、Iw値が「0.7」未満となった建物は、大規模地震により倒壊（崩壊）する危険性が高いことから、今年度に耐震化事業に着手する。ただし、浅岸小学校については、盛岡市小中学校適正配置基本計画の策定状況を勘案しながら、今後の対応を検討するものとする。

## 3 盛岡市立小中学校（非木造施設）の耐震化の状況

別紙のとおり。

## 盛岡市立小中学校（非木造施設）の耐震化の状況について

## 1 小中学校数及び全棟数

69校 348棟

## 2 耐震化率等（平成24年4月1日現在）

## (1) 耐震化済棟数

ア 校舎	35校	182棟	（全棟数 261）	耐震化率	69.7%
イ 体育館	54校	73棟	（全棟数 87）	耐震化率	83.9%
ウ 全体	32校	255棟	（全棟数 348）	耐震化率	73.3%

（平成23年4月1日現在の全国平均80.3%）

## (2) 今後耐震化を要する棟数（第2次耐震診断未実施の20棟を含む。）

ア 校舎	33校	79棟
イ 体育館	12校	14棟
ウ 全体	37校	93棟

## 3 第2次耐震診断の結果及び計画

教育委員会では、市立小中学校耐震化対策として、新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した校舎・体育館について第1次耐震診断を実施し、その結果に基づき、 $I_s$ 値0.7未満の建物（棟）を有する学校を対象に、 $I_s$ 値の低い学校から順次第2次耐震診断を実施している。

平成23年度までに第2次耐震診断を実施した結果及び措置状況は、別表1のとおりである。また、第2次耐震診断未実施の学校については、別表2のとおり24年度に行う予定である。

## 4 今後の対応

第2次耐震診断の結果により、 $I_s$ 値が「0.7」未満となった建物は、耐震化工事が必要となる。特に、 $I_s$ 値が「0.3」未満の建物は、大規模地震により倒壊（崩壊）する危険性が高いことから、早期の耐震化完了に向け、工事を実施する。

また、 $I_s$ 値が「0.3」以上「0.7」未満となった建物は、大規模地震により倒壊（崩壊）する危険性があることから、盛岡市立小中学校耐震補強計画に基づき、平成27年度を目標として耐震化を推進する。

なお、耐震化工事の方法等については、第2次耐震診断で提案された工法、工事期間、授業への影響等を総合的に勘案の上、決定するものとする。

別表1 第2次耐震診断を実施した結果及び措置状況（平成24年4月1日現在）

Is 値	実施 年度	小学校		中学校	
		全4校・7棟	措置状況	全6校・10(4)棟	措置状況
「0.3」未満	H19 ・ H20	緑が丘小2 厨川小3	H21 補強済 H22 補強済	大宮中(2) 厨川中2 城東中1 下橋中2 藪川中(1)	H21 補強済 H22～24 改築中 H22 改築済 H22 補強済 H22 補強済
	H21	青山小1	H23 補強済	城西中2 城東中3	H24・H25 改築中 H24・H25 改築中
	H22			厨川中(1)	H24 補強予定
	H23	見前小1	H25 補強予定		
「0.3」以上 「0.7」未満	実施 年度	全17校・38(1)棟	措置状況	全10校・25棟	措置状況
	H19 ・ H20	緑が丘小4 大新小1, 厨川小1 北厨川小2 本宮小1, 川目小1		厨川中1 下橋中4 大宮中4 巻堀中2	H22・23 改築済
	H21	仁王小4, 厨川小2 中野小1, 青山小3 高松小3, 太田東小2 大新小2, 東松園小1 玉山小1, 松園小2 月が丘小4		上田中5 城西中2 繫中1	
	H22	見前小(1)		仙北中1 北陵中1	
	H23	中野小1 見前小1 生出小1		北陵中2 大宮中1 松園中1	

Is 値		小学校	中学校
「0.7」以上	実施年度	全 10 校・17 棟	全 8 校・10(3)棟
	H19	—	巻堀中 2・(1)
	H21	仁王小 1, 青山小 2, 太田東小 1 大新小 2, 東松園小 2 本宮小 3, 松園小 3, 高松小 1	下橋中(1), 上田中 1, 下小路中 3
	H22		厨川中(1)
	H23	仙北小 1 見前小 1	北陵中 1 玉山中 1 松園中 2

- (注) 1 数字は校舎棟数, ( )内は体育館棟数  
 2 第 2 次耐震診断済棟数 (全135棟のうち)  
 H19・20年度 13校・37棟, H21年度 18校・59棟, H22年度 4校・5棟, H23年度 8校・14棟 計 115棟 (進捗率85.2%)  
 3 アンダーバーは耐震化が完了した建物,  は事業着手している建物

別表 2 第 2 次耐震診断未実施の学校 (平成24年 4 月1日現在)

年度	実施予定校	棟数	校数	1 次診断結果
H24	土淵小1, 山岸小1, 津志田小2 外山小(1), 米内小(1), 緑が丘小(1) 桜城小(1), 松園小(1), 仙北小(1) 下小路中4(2), 土淵中1, 城西中(1) 上田中(2)	9 (11)	13	[0.5 ≤ Is値 < 0.7]

- (注) 1 数字は校舎棟数, ( )内は体育館棟数  
 2 土淵小体育館は, 土淵小・中一貫教育導入施設整備事業により, 平成25年度に改築する予定である。